

虐待被害児診察技術研修

虐待・ネグレクトを受けたと疑われる子どもの系統的全身診察は、性器・肛門だけでなく、全身を診察できる技術を有し、子ども虐待・ネグレクト全般に関して研修を受けた医師が行う必要があります。

○なぜ、子ども虐待・ネグレクトについて知っている必要があるのでしょうか？

「性虐待被害を受けた子どもの性器・肛門は傷ついているはずだ」と誤解されがちですが、性虐待の特徴として、性器・肛門が傷ついていないことも多く、また、傷ついたとしても粘膜は治癒しやすいため、診察時に所見が見られないことが多いのです。だからといって、性被害がなかったというわけではありません。医師がこのような知識を持つことは、子どもたちの被害を見逃さないために大切であり、不安をいっぱい抱えている子どもに「あなたのからだはだいじょうぶ」と専門性を有する医師が伝えることで、子どもの心の負担を軽減してあげることができます。

○系統的全身診察とはどのようなものなのでしょうか？

系統的全身診察は、性器や肛門など性的な挿入が疑われる部分のみを診るものではありません。頭のてっぺんからつま先まで、身体のパーツ一つ一つを子どもに問診しながら診ていきます。そうすることによって、合併する他の虐待の評価ができますし、乳房や性器・肛門などプライベートな部分を診察される際の子どもの羞恥心や不安を低減することで、診察による二次被害を防ぐことができます。

医師・看護師はもちろん虐待対応に関わる全ての職種の方を対象にしております。
是非ご参加ください。

日時： 2018年2月25日(日) 前半講義 9:00-12:00
後半講義と実技 13:00-18:00

講師： 山田不二子先生

参加費： 前半講義のみ：500円
前半講義と後半講義および実技：1,000円

会場： 済生会川口総合病院 講堂(東館 地下1階)

	前半講義	後半講義と実技
時間	9:00～12:00	13:00～18:00
対象者	子ども虐待に関わる全ての職種	医師、助産師、看護師等医療者 ※児童福祉司、警察官、検察官で参加希望の方もご参加いただけます
内容	「性虐待概論」および「多機関連携チーム概論」 虐待事例への対応策や被害児からの聞き取りに関して、多機関が連携して対応する方法などについて学びます。	「診察方法概論」および実技 等身大の幼児のドールを使って診察の技術を学びます。実際の子どもにどのように問診するかなど、豊富な資料と質疑を交えて具体的に研修します。

※後半講義まで参加の方は昼食を用意いたします。

※先着順に受付いたします。定員になり次第、申し込みを締め切らせて頂きます。

【お申し込み】 申込期限 2018年2月10日まで
参加申込書に必要事項をご記入いただき、下記FAXもしくは済生会川口総合病院小児科外来へ直接お持ちください。受付完了の後、参加番号を記した『参加票』を参加票返信先FAX番号あてに返信致します。受診可能なFAX番号をお間違えないようにご記入下さい。

FAX: 048-253-8401

お問い合わせ: 済生会川口総合病院小児科(担当: 岩丸)

〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5

TEL: 048-253-1551(代表) 048-253-8253(小児科外来)

参加申込書兼参加票

参加ご希望の講義・実技を○で囲んでください

下記を○で囲む	事務記入欄: 参加番号
「前半講義」のみ参加	
「前半講義と後半講義および実技」に参加	

氏名: _____ (ローマ字) _____

所属: _____ 職種: _____

連絡先住所: 〒 _____

(日中の連絡先)

TEL: _____ (参加票返信先)

FAX: _____

E-mail: _____